

用語	解説
DX	デジタル・トランスフォーメーションの略。デジタル化（デジタル技術を活用したサービス導入）にとどまらず、業務や組織の改善を行い人々の生活をより良いものへと変革する取組。
自治体情報システムの標準化・共通化	住民記録システムなど、地方公共団体が基本的な事務を処理するための基幹系情報システムを国が定める標準仕様書に基づき統一していく取り組み。地方公共団体情報システムの標準化に関する法律により定められ、令和7年度中までに移行することが義務付けられている。
AI	Artificial Intelligenceの略。人工知能。
RPA	Robotic Process Automationの略。これまで人間のみが対応可能と想定していた作業、もしくはより高度な作業を、人間に代わって実施できるルールエンジンやAIを含む認知技術を活用して、代行する取り組み。
テレワーク	本拠地のオフィスから離れた場所で情報通信技術を活用し仕事をする。場所や時間を有効に活用できる柔軟な働き方。
GIS	Giographic Information Systemの略。地理情報システム。
ぴたりサービス	デジタル庁が運営するマイナポータル（マイナンバーカードを活用し、各種行政手続き等を行えるウェブサイト）のうち、行政手続きのオンライン申請を利用できるサービス。
チャットボット	人間と会話しているような受け答えをロボットが自動で行う技術。
BPR	Business Process Re-engineeringの略。業務本来の目的に向かって組織や制度を抜本的に見直し、業務フロー、情報システムをデザインしなおすこと。
OCR	Optical Character Recognition/Rederの略。手書きや印刷された文字をイメージスキャナ等により読み取り、文字に変換する技術。
AI-OCR	AIの技術で文字補正結果を学習し、通常のOCRよりも識字率を向上させる技術。
PDCAサイクル	Plan（計画）、Do（実行）、Check（評価）、Action（対策）のプロセスを循環させ、品質向上を図る考え方。目標が明確化され達成度が測れることから、課題や問題点の分析につなげやすいといわれる。
OODAループ	Observe（観察）、Orient（状況判断、方向づけ）、Decide（意思決定）、Act（行動）による判断を繰り返す手法。PDCAサイクルにくらべ、スピーディーな事業展開につなげられるといわれる。